

新基地建設反対名護共同センターニュース

保守革新を乗り越え市民中心の市政を



心ひとつに
女性の集い

大道なつよ市議
補選予定候補



トイタ(砥板)芳行氏の略歴

石垣市議4期。1969年生まれ。私立海星小、熊本マトリス学園中・高校卒、東京デザイナー建築デザイン科中退。八重山青年会議所理事長、米國務省 IVLP。海上保安協会支部理事など

石垣市長選(20日告示、27日投開票)は告示まで一週間を切りました。新人で市議のトイタ(砥板)芳行氏(52歳)と現職で4期目をめざす中山義隆氏(54)と自民・公明推薦のとの一騎打ちです。トイタ氏は市議会野党、保守団体、市民団体、自然保護団体などと計8つの政策協定を結んでいます。

11日夜には女性部(白玉敬子部長)の集いを同市内で開き、トイタ氏は市議補選予定候補者の大道なつよ(夏代)氏(53)とともに決意を語りました。家族や地域の女性代表の訴え、ダンスあり、笑いありで市政を市民に取り戻す熱意にあふれました。

トイタ氏は「(中山市政のもとで)長期政権による市民不在の独善的な市政運営が行われている。市民の信頼を回復し市民による、市民のための石垣市政を取り戻します。保守、革新を乗り越えて心一つにして新しい石垣市、コロナで疲弊した石垣市から脱却し、力強い、豊かな石垣市をつくっていきます」と決意を表明しました。大道氏は「小さな声を上げることが大事。お年寄り、子ども、お父さん、女性の声を市政に届けたい」と語りました。

市民不在の独善市政変えるチャンス!

次期市長選での雪辱めざし頑張ろう! 「島ぐるみ会議名護」が定例会

名護市長選後初の島ぐるみ会議名護の定例会が11日、名護市内で開かれ20人余が参加しました。稲嶺進代表(元名護市長)が「市長選の結果は残念だったが、建白書実現に向けて今後も頑張っていきましょう」、岸本洋平氏は「多くのおみなさんのご支援に感謝します。私の訴えは届かなかったが、次の闘いにつながるたたかいだった。ありがとうございました」との感謝の挨拶がありました。参加者から選挙戦での感想や反省点などが多く出され、「4年後の雪辱に向かって今から頑張っていこう」と意思統一しました。事務局から岸本選対としての選挙総括を2月19日に行うことが報告されました。



キャンプ・シュワブゲート前で
パネルを掲げる県民(9日)

ゲート前などでの監視活動続く

キャンプ・シュワブの工事用ゲートや第3ゲート、海上行動はじめ安和港、塩川港での監視活動は引き続き少人数で続けられています。

「命どう宝」公演 観客席から拍手や指笛鳴り響く



閉幕後、挨拶する出演者たち。中央は、劇団文化座代表の佐々木愛さん。

名護市民会館は満席状態に
劇団文化座による特別講演「命どう宝」が13日、名護市民会館大ホールで上演されました。1月に市長選もあって宣伝がいきわたらなく心配されていましたが、観客席はほぼ満席状態で大盛況でした。

島ぐるみのたたかいを再現
米軍占領下で銃剣とブルドーザーで家や土地を奪われた伊江島の阿波根昌鴻を先頭とした非暴力のたたかいや人民党書記長瀬長亀次郎や屋良朝苗などが先頭に立った「復帰協」の結成など島ぐるみの闘いの再現に観客は引き込まれました。

亀次郎の演説に拍手と指笛
亀次郎役の藤原章寛さんが「瀬長一人叫んだらば」の有名な演説のフレーズを訴えた時、大きな拍手と指笛が鳴り響き、当時の演説会場を思わせるかのような光景でした。

辺野古の住民も多数観劇
ゲート前で座り込みを続ける島袋文子さんなど辺野古の地元住民や活動家も多数観劇。舞台上で全員がカチャーシーを踊る場面では、感激で涙を流す人が多くみられました。